

平成22年度市民協働アクションプラン実施状況

市民協働(共働)によるまちづくり

指針の目的 市民と行政が協働(共働)するまちづくり

協働(共働)のねらい

市民一人ひとりが地域づくりに関心をもち、地域の課題や宝探しを「共」に有し、感じ、働き、そして創る「共有(起)→共感(承)→共働<協働>(転)→共創(結)」の物語を展開するために、「共」を共通の合い言葉として、市民と行政が協働(共働)するまちづくりを目指します。

協働(共働)へのストーリー

《物語》

起
↓
承
↓
転
↓
結

《協働(共働)へのプロセス》

共有
↓
共感
↓
協働
||
共働
↓
共創

時間がかかり面倒だが、より良い成果のため欠かすことのできないプロセス

難解なプロセスに準備不足状態で取り組んでいる!

協働(共働)を進めることにより、次の3つの事項の実現を考えています。

- ① 市民活力発揮により、地域コミュニティの再生
- ② 対馬らしさを自慢できる独自の地域づくりの展開
- ③ 行政運営の効率化

対馬市市民協働(共働)推進実施計画

協働(共働)指針における基本的な考え方を踏まえて、協働(共働)を進めるための施策の展開を第1段階(平成20年度～)、第2段階(平成21年度～)、第3段階(平成22年度～)に区分した推進の実施計画を策定しました。

施策1

協働(共働)の意識を高める！！

★市民が主体 ●市が主体 ◎市民と市が主体

■協働(共働)に対する意識高揚を見極めながら、協働(共働)に関する条例制定について検討します。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 自治会、地域で	地域マネージャー制度を通じて、協働に対する市民意識の把握に努めます。	各地区、地域に地域マネージャーが入り、市民協働の実施、意識高揚に向けた取り組みを進めている。しかしながら地域間で協働意識の格差があり、今後時間をかけながら協働意識の醸成に取り組んでいきたい。
◎ 協働に関する条例の検討	協働に関する条例の作成に向けた検討を行います。	(仮称)市民基本条例検討委員会を平成22年8月に立ち上げ、市民協働によるまちづくりを目指すため、市民がこれまで以上にまちづくりや市政に関わる仕組みづくりと市民、議会、行政それぞれの責務や役割分担を明確にした条例(案)づくりの検討を実施。 平成23年度議会提案に向けて取り組みを進める。

■職員の協働に関する理解を深めるための意識の向上に努めます

項目	アクションプランの内容	実施状況等
● 職員用マニュアル	市民とのトラブルを防止するための職員向けマニュアルを作成します。	職員用マニュアルの策定までには至っていないが、地域マネージャーの校区会議などを開催し、市民とのトラブル防止に向けた指導、協議を実施。 将来的に、職員向けのマニュアルの作成し、職員の協働に関する理解を深める取り組みを進める。

■市民が身近に、主体的にまちづくりを進めるために必要な情報を提供します。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 協働(共働)事例集の作成	市民が身近に、主体的にまちづくりを進めるために必要な情報を提供します。	市民に対し、協働事業の事例や各種支援制度の紹介など、市報H22.7月号より「地域マネージャー通信」として情報提供を実施。各地区での協働の取り組みも増えてきており、今後は、協働(共働)事例集の作成を進める。

■協働(共働)に関する標語を募集します。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 協働(共働)に関する標語の募集	協働(共働)を身近に感じてもらうため、標語を募集し、広く市内に発信します。	(未実施) 現状において、地域マネージャー制度の導入などにより協働に関する市民の意識は徐々に高まりつつあるが、まだ、市全体としては意識が低いため、一定の気運が高まった段階で標語を募集し、協働の発信に向けた取り組みを進める。

■「協働(協働)」の日の制定について検討します。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 自治会活動やボランティア活動の一斉展開日の検討	「協働(共働)の日」の制定について検討します。	(未実施) 「協働に関する標語の募集」と同様に市民の協働に関する意識が高まった段階で、「協働の日」の制定に向けた取り組みを進める。

施策3

市民活動を活性化する！！

★市民が主体 ●市が主体 ◎市民と市が主体

■コミュニティの再生と育成強化を図るため、地域・地区からの相談に応じる職員による地域マネージメント制度の導入を検討し、実施に向けた取り組みを行います。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
● 地域マネージャー制度の充実	協働についての意識向上を図るための職員研修を実施し、地域マネージャー制度の充実に図ります。	地域マネージャー制度の充実、意識向上を図っていくため、校区会議2回、職員研修会1回、リーダー、サブリーダー会議を1回開催。

■事業の成果や課題を掘り下げ、実効性のある「協働(共働)のまちづくり」を目指すためのコミュニティ推進モデル事業を検討します。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 地域コミュニティの組織強化	地区コミュニティや小学校区等を対象とした地域コミュニティへの積極的参加を通じた組織体制の強化を図ります。	地域マネージャーを配置しながら、継続的な地域コミュニティの組織強化の取り組みを実施。
◎ コミュニティモデル事業に対する支援	コミュニティ推進モデル事業の活動に対する支援を検討します。	地域のコミュニティ事業に対し、わがまち元気創出支援事業等による一定の支援を実施。平成22年度より新しい支援制度として、アドバイザー派遣支援事業を創設。

施策4

市と協働(共働)に関する仕組みをつくる！！

★市民が主体 ●市が主体 ◎市民と市が主体

■職員が協働(共働)を進める際に留意すべき事項や事務処理の基準を定めた協働(共働)に関するマニュアルの作成(再掲)

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 協働(共働)に係る経費負担に関するルール	協働(共働)に係る経費負担に関するルールづくりの検討を始めます。(指定管理者制度等)	経費負担に関するルール作りまでには至っていないが、地域における協働事業は増加してきており、今までの事例等を参考にしながら、経費負担に関する一定のルールづくりを進める。

■市民や市民団体の参加を求める業務を拡大します。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 協働パートナー制度の運用検討	協働(共働)パートナー制度の運用(事業の周知、市民からの業務提案制度の導入)を検討します。	未実施
◎ 里親制度の導入検討	里親制度について研究し、次年度以降の導入を検討します。	未実施

■市民団体から事業への提案を受ける「事業提案制度」の導入を図ります。

項目	アクションプランの内容	実施状況等
◎ 事業提案制度の導入検討	事業提案制度について制度の内容、仕組み、スケジュール等、導入のための検討を行います。	未実施

施策5

協働(共働)を進行管理する！！

★市民が主体 ●市が主体 ◎市民と市が主体

■毎年度、指針に基づいて市民及び市が行う「アクションプラン」の策定

項目	アクションプランの内容	実施状況
● 22年度アクションプランの策定	22年度における市民及び市が行う「アクションプラン」を策定します。	策定済み

■協働(共働)の進捗状況についての毎年度公表

項目	アクションプランの内容	実施状況
● 広報「つしま」を利用	協働(共働)の進捗状況について、毎年度、広報「つしま」を利用して公表していきます。	広報「つしま」での公表は実施出来ていないが、対馬市HPにおいて公表。

■事務事業評価のなかで、協働(共働)に関する評価を取り入れます。

項目	アクションプランの内容	実施状況
● 協働（共働）に関する事務事業評価手法の検討	協働（共働）に関する事務事業評価の実施前段として評価手法の検討を行います。	地域マネージャー制度については、地域づくり計画策定によって、事務事業評価を実施します。他の協働事業においては、各部局において、協働に関する項目を設定し、それに向けた事務事業評価を取り組むよう推進していきます。